

# 調査書 (新規・更新)

(郡山市ひとり暮らし高齢者等  
緊急通報システム事業関係)

## 記載例

※ の方は担当のケアマネジャー  
センター職員が記入するものです。申請書に添付の上、  
高齢世帯等においては、同居人の調査書も併せて作成

新規申請時は「新規」、利用者の状態  
が大きく変わり調査書を更新する時は  
「更新」へ丸をつけてください。

氏名	郡山 がくと		昭和
住所	【注意】この様式は、担当ケアマネジャーもしくは担当地域包括支援センター職員が作成するものです。		
要介護認定の状況	無 ・ 有( ) 事業対象者 ・ 要支援 ( ) ・ 要介護 ( ) ・ 申請中		
福祉サービスの利用状況	通所リハビリ (週1回)		
医療保険	保険種別	後期高齢者医療保険	保険証記号番号 123456××
	保険者	郡山市	
かかりつけの医療機関	音楽の都クリニック (電話: 024-924-××××)		(主な病名) 高血圧症
	(電話: )		(主な病名)
電話の対応	<input checked="" type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない 理由 ( )		
			生活に支障をきたしている状況
1 身体状況	視力	普通 ・ 弱視 ・ 全盲	
	聴力	普通 ・ やや難聴 ・ 難聴	
	言葉	普通 ・ やや困難 ・ 困難	
2 日常生活動作の状況	歩行	自分で可 ・ 杖使用 ・ 掴まり歩き ・ 歩行器使用	長い距離は歩行不可
	行動範囲	単独外出 (毎日・時々) ・ 家周 ・ 屋内	
	床上動作	正座 ・ 腰掛け ・ 坐位介助 ・ 寝返り (可・不)	床からの立ち上がりが困難
	食事方法	箸で普通に ・ 匙で	
	食事内容	普通食 ・ 刻み食 ・ お粥	
	排泄	自分で可 ・ 介助してトイレへ ・ ポータブル便器 失禁 (有・無) ・ オムツ使用 (昼・夜)	
	入浴	自分で可 ・ 一部介助 ・ 全介助 ・ 清拭のみ	
	着脱衣	自分で可 ・ 一部介助 ・ 全介助	
寝具始末	自分で可 ・ 畳むだけ ・ できない ・ ベット使用		
3 認知症高齢者の日常生活自立度	自立 ・ I ・ IIa ・ IIb ・ IIIa ・ IIIb ・ IV ・ M		物忘れが増えてきている
緊急通報システムの必要な理由	ひとり暮らしで足が不自由である。長い距離を歩くことが困難で、転倒などの危険性もある。体調急変時に不安があるため、緊急通報システムを利用したい。		
事業所名	郡山〇〇高齢者あんしんセンター (電話: 024-924-〇〇〇〇)		
調査員氏名	職員 安積 まいこ		